

財團法人三井報  
恩會資料號外  
優秀技術保存の必要

同會編

14.5

559

14. 5-559



1200501217698



始



14.

55

資料號外

優秀技術保存の必要

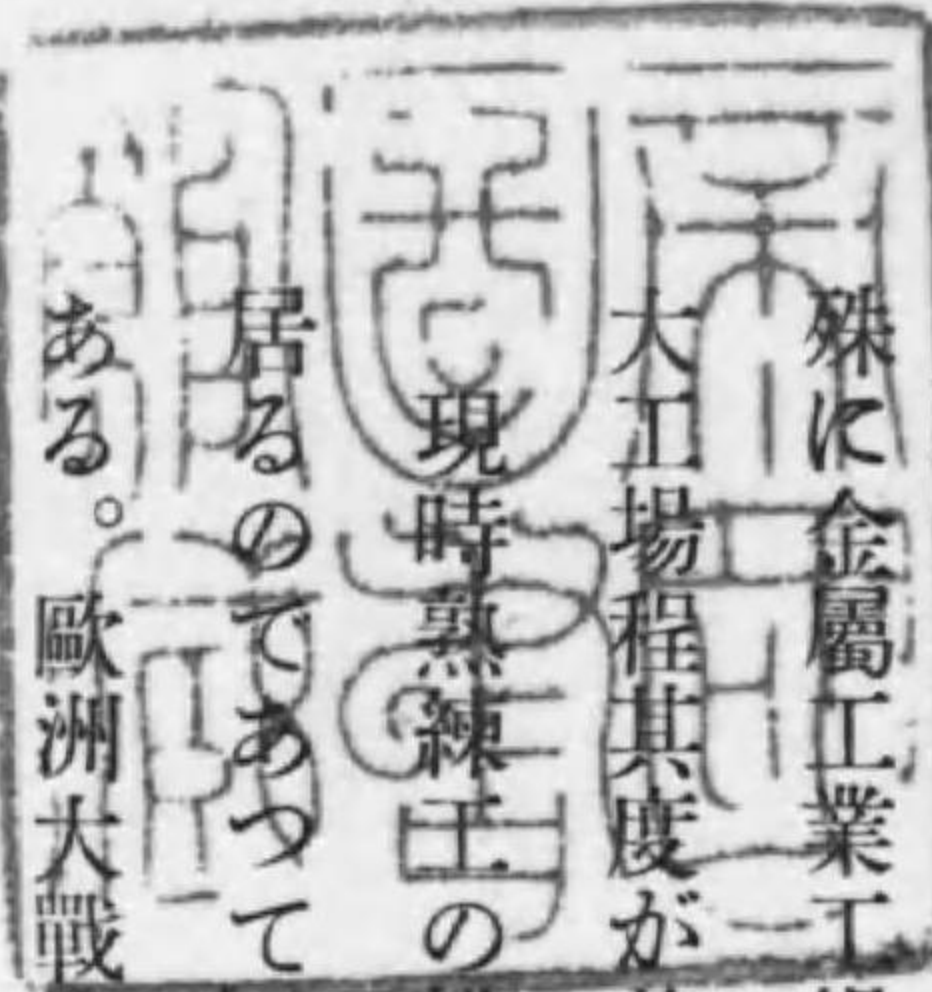
財團法  
三井  
報恩會

### 優秀技術保存の必要

最近時局の影響を受けて男子労働者の募集困難が頓に問題化されて居る。

殊に金屬工業工場に於ては應召者の續出に關聯して労働者の不足が叫ばれ、

大工場程其度が甚だしいのである。



現時熟練工の拂底と云ふ聲が喧しいが、これは大體機械工を指して云つて居るのであつて、軍需景氣には當然起つて來ることは豫測されて居た問題である。歐洲大戰後の深刻な失業問題が起つて來た時、我國に於ても其例に洩

れず、大正八年以來各工場に於ては軍縮又は整理等のために多數の職工の集團的解雇が行はれ、陸海軍工廠を始め各公私の重工業大工場では一時に四千人もの大集團を馘首したことがあつた。それが數次に亘つて居るので其爲め國寶的な技術優秀な工人をも整理して了はねばならなくなり、次の時代の繼



承者の養成といふ事を全く放擲したかの觀があつた。それが昭和七年以來軍需工業が隆盛になるに従ひ熟練工の拂底が目立ち互ひに爭奪し合ひ、急場間に合はせることで漸くお茶を濁して來た、問題は茲にある。

機械工養成に關して世間が重大視して來たのはつい最近のことであり、今日の非常時の下に於ては全く施すべき方策もなく漸く何等素養のない人々を農村から驅り出して來るといふ有様で見習工、素人工の募集さへ成績は芳しくない。況んや優秀技術者を得ることは望まれない事である。

最近數ヶ年間に於ける工場労働者の異動を見れば左記の如く、△ハ解雇超過

	解 雇	雇 入	雇入超過
昭和五年	五六九、四三三 <sup>人</sup>	五一五、一五九 <sup>人</sup>	△ 五四、二七四 <sup>人</sup>
六年	六五六、一一四	五五五、〇五五	△ 一〇一、〇五九
七年	四八三、八五三	五四〇、五四四	五六、六九一
八年	五二四、九三七	六三四、二五四	一〇九、三一七

九年	五六三、五三五	六八〇、八七六	一一七、三四一
十年	六六三、八〇四	七九三、七八八	一二九、九八四

以て我國の景氣の傾向を知る事が出来る。

全國工場労働者總人員を見れば昭和九年末現在壹百三十萬人弱、同十一年初頭には壹百五十二萬人餘、本年に入つて壹百八十萬人餘に激増して居る有様である。

支那事變以來の生産力の全面的擴充に伴ふ熟練工の補充對策は政府及び各府縣當局に於ても今更の如く大童になつて職工養成機關の設立を企て着々行つて居るが、民間に於ても亦夫々自工場に熟練工養成の施設をなし、數年來機械工を數ヶ月で急仕立する營業的養成所さへ續出した。京濱地方、阪神地方、北九州地方に於ては種々な對策を講じて居るが、其不足を緩和出來ないやうである。

今最近神奈川縣下だけの例を見ても、

神奈川縣下主要機械工場職工不足狀況

(A) 大中二十三工場の見込 (本年六月現在)

就業職工數 三六、六七四人 内熟練工四一%、其他五九%

不足見込數 四、二四五人

不足率 一四%

(B) 大工場三十六ヶ所中

昭和十一年中 需要 五、四二二人

雇入 三、二九七人

其の職別で旋盤工、仕上工、製罐工、試験工であるが如く、今日としては熟練工、機械工は全く拂底し優秀な職工を得ることは特に困難と云つてよい。

左記は此點を稽へて嘗て調査したものの摘録である。

技術の優秀は一朝一夕に來るものでない。軍縮の結果公私各工場に於て集團的解雇が行はれ、長く養成した熟練工は高級者であるか、又は永年勤続者である爲め整理の時には眞先に其厄に遇ふのが普通である。斯くして彼等は失業し、其結果は歸農するか或は轉職するかして熟練工を喪ふ事になつたのは洵に痛惜に堪へざる處で其當時昭和四年頃であつたが横須賀海軍工廠を訪問して優秀職工保存方につき訊ねたことがあつた。

當時廠長よりの話によれば「當工廠の創立は舊幕時代慶應年間であるが今日の職工數は約一萬人に達し、(八八艦隊準備の時代などは三萬人を超して居る)その中で

一、父子相傳四代に及ぶ技術員 一名

二、三代の繼續者 三九名

三、一家三名以上工廠員たるもの 一六三名



四、四人以上のもの

一五名

を算し以て我國海軍の技術的強味を知ることが出来ると思ふのである。嘗て時の

陛下親しく當工廠に行幸せられし折には父子相傳四代三代の者は列立拜謁を仰付つた、其光榮や思ふべしである。

我が官公營工場に於ては猶比較的優秀技術の保存と保護を受けて居るが民間工場の職工は好況、不況によつて非常な變動のあるは止むを得ないとしても、今日技術工の不足を告ぐる事の一大原因は技術工保存に對する充分の考慮が行はれなかつたこと、次の時代の爲めに養成を懈つたことである。また一方志望者の方面にも職業指導の施設宜しきを得ないこと、即ち個性又は適性による職業指導選擇が行はれて居らないことは勿論であるが、我國の職業轉換とその動搖は常に頗る大なるものがあつて職業選擇及び希望は其の

時々の景氣や需要本位であつて定見ある適性の上から考慮されて居ない事が主たる原因で、これでは到底優秀技術修得は頗る困難と云はねばならない。過去十ヶ年に於ける全國労働市場に於ける年齢二十歳より三十歳までの求職者が全求職者總數の平均五八%を示して居ることを見ても如何に吾國の労働者の移動の激しいか知られる。

茲に於て吾人は何等かの方法で優秀技術工又は名工保存のために努力する必要があると思ふ。

昭和十二年十月二十七日印刷  
昭和十二年十月三十一日發行

不許  
複製

【非賣品】

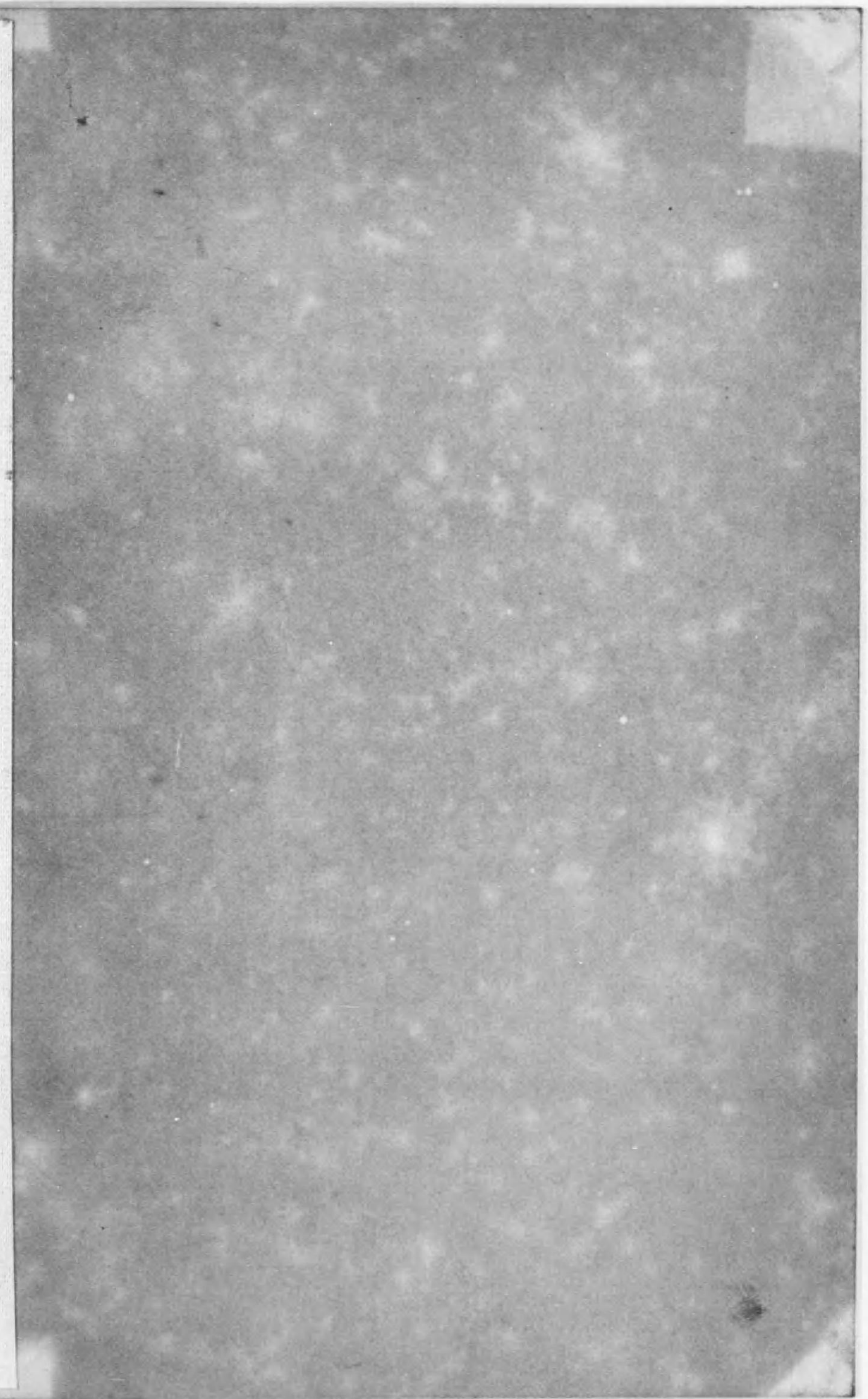
發行者 東京市日本橋區室町三丁目一番地  
財團法人 三井報恩會

鈴木正美

印刷所 東京市京橋區銀座四丁目四番地  
株式會社 細川活版所

印刷者 北川武者輔

14.5  
559





終